



Agresh

2 2024  
月号  
No.167

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

# Agresh

2 2024  
月号  
No.167

JA十和田おいらせ



特集 広げよう“ノウフク”の輪

令和6年2月1日発行 発行所 JA十和田おいらせ 事務局 大深内支店管内  
〒034-0081 青森県十和田市大深内三丁目4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829  
編集 JA十和田おいらせ 編集委員会 編集長 大深内 洋子 TEL.0176-23-0311 https://www.jatowada.or.jp  
E-mail:jatowada@jatowada.or.jp ■ 田舎 / メール / 田舎

農家さんの料理教室  
お肉の旨みギュウ〜と!  
牛小間で温かスープ



材料(4人前)

牛小間切れ肉…………… 150g  
牛脂(オリーブオイル代用可) 適量  
シイタケ…………… 2~3個  
きくらげ…………… お好みの量  
えのきだけ…………… 1/2房  
ニンジン…………… 1/2本  
タケノコ…………… 80g  
ニラ…………… 1/2袋

調理時間: 30分

長ネギ…………… 1~2本  
卵…………… 2~3個  
お湯…………… 1400~1600cc  
ウェイパー…………… 20g  
(シャンタンペースト、  
鶏がらスープの素代用可)  
塩コショウ…………… 適量  
しょうゆ…………… 適量

【下準備】

牛肉…………… 軽く塩コショウを振っておく  
シイタケ、きくらげ…………… 細切り  
えのきだけ…………… 石づきを取って2等分に切る  
ニンジン…………… 千切り  
タケノコ…………… 短冊切り  
ニラ…………… 5cm幅に切る  
長ネギ…………… 細く斜め切り  
卵…………… 溶いておく

作り方

- ① 鍋に牛脂を入れて、牛小間切れ肉を炒める
- ② ウェイパーをお湯に溶かして、①の鍋に投入する
- ③ 沸騰したら、アクを取り除き、長ネギ以外の具材をすべて入れる
- ④ 再沸騰したら長ネギを入れて、塩で味を調え、香りづけにしょうゆを入れる
- ⑤ 30秒ほど煮込んで、沸騰しているところに溶き卵をゆっくりと回し入れ、軽くかき混ぜたら完成!

Point

- しょうゆを入れることで味がしまります!
- 七味を入れたり、白ご飯にかけたりして食べるのもおいしいですよ!



当JA理事 大深内支店管内  
農業経営 沢目 禎子さん  
(繁殖)親牛:約400頭 子牛:約200頭

我が家の大人気メニューです。娘の夫も4杯ペロリと食べてしまうほど絶品の一品!牛肉は特別な日にしか食べないという方も多いと思いますが、このスープは小間切れ肉で作れるので気軽に普段の食事に取り入れてほしいです。牛肉ならではの脂の甘み、うま味がしっかりと味わえます。好きなお野菜を入れて、スープまでご堪能ください。

(取材日: 1月27日)



# みちのく episode 15 農紀行 わたしの歩む道

三本木事業所管内 <sup>とよかわ</sup> 豊川孝将さん 46歳 <sup>たかまさ</sup> 正子さん 47歳 <sup>まさこ</sup>  
<sup>さな</sup> 次女: 紗菜さん 13歳 <sup>さほ</sup> 三女: 紗帆さん 11歳  
組合員: 本人  
農業経営: 黒毛和牛(繁殖)親牛: 38頭・子牛: 28頭・水稲: 6畝・牧草: 15畝

就農してすぐの頃、子牛の死産や急死が続き、生計がなりたないピンチの時がありました。なぜそのような状況になつていのかを色々考えて、まずは牛舎の環境を整えることを徹底しました。衛生面を第一に、牛がストレスを感じていないか体調をよく観察し、分娩や種付けなどもすべて見直して管理するとセロ口ではないですが、限りなく子牛のトラブルを防ぐことができ、現在は理想である「1年1産」も実現しつつあります。人間と同じく、牛にとっても生きていく環境はとても大切で、生育や肉質にも大きく影響してくると学びました。

**現在**  
今年の春で就農7年目に突入します。昨年は両親から事業承継し、私が経営者となりました。普段は妻と2人で作業をし、学校が休みであれば娘たちが率先して手伝いに来てくれます。もちろん学業が優先なので「宿題が終わってから」が我が家のルールです。牛を可愛がって一緒に子牛の名前を付けたり、市場や品評会についてきては楽しんでいふようにです(笑)。作業が忙しくて、なかなか外に連れて行ってあげることができませんが、安心して楽しく仕事ができるのは、妻や子ども達からサポートしてくれているからだに感謝しています。毎日本当にがんばつてくれているので、私も良い牛を育て、品評会で良い成績を残し、家族を喜ばせてあげたいなとやる気になっています。

## サポートを力に前進

## 良質な牛の生産へ

今は1頭ごとにカルテのようなものをつくり、何かあったときにすぐ対応できる態勢を整えています。

**想**  
初めて品評会に出品したのが令和4年の6月でした。チャンピオンの姿を見て「すごいな。自分もいつか」と思っていたら、2度目の8月にまさかのチャンピオン賞をいただきました。嬉しさが込み上げて思わずガッツポーズ。そして、令和5年の県の共進会では第4区で驚きのチャンピオン賞。未だに信じられない気持ちです。受賞できたのは、毛のカットや削蹄、調教と仲間の手厚いサポートがあったからです。全国の共進会で見たいレベルには、まだまだ追い付くことはできませんが、色々な人から意見やアドバイスをたくさんもらって、同じ月齢でも飛びぬけて良い牛がつけられるように技術を磨いていきます。

## 未来

今の経営は親から引き継いだ施設や牛で成り立っています。そこで満足せず、自分で牛の質を上げて、新たな付加価値を付けて販売していくことが目標です。牛舎の作りなどを見ていると、工夫すれば規模を拡大することも可能ではないかと考えています。市場性を見つつ実現できるように家族の力を借りながらがんばっていきます。

じいじのコンバイン乗っ取ったぜ！  
(蛭名とものじょうさん投稿)



今年もおいしくできたよー！(沼宮内さんご夫婦)



受験生にサクラ咲け！



農林水産大臣賞に選ばれたナガイモとニンニク(P7参照)

管内の笑顔 harvest 畑でみっけ

# 畑でみっけ

未来に残したい農風景やおいしい顔、  
農業仲間とのひと時など、  
“食”と“農”に関する写真をお寄せください！

- ①お名前(ペンネーム可) ②写真のタイトル
  - ③撮影時の様子 ④撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail [kikaku@jatowada-o.or.jp](mailto:kikaku@jatowada-o.or.jp)

大募集!!

お花も笑顔も満開です！



地域貢献へJA青年部や職員も消防団で活動中！  
(十和田市出初式)

目次	睦月
楽しむ管内の笑顔 harvest 畑でみっけ	2
話題 うちの農紀行 【豊川孝将さん (三本木事業所管内)】	3
特集 集広げよう「ゾウフク」の輪	4
ニュース Photo News	7
活動紹介 P.O.N.E. イキイキ活動	10
お知らせ パワーアップ アクション報告	10
お知らせ 情報掲示板	11
お知らせ くだあくれ情報	14
楽しむ みんなの広場	15
料理 農家さんの料理教室 お肉の旨みギュウ〜！ 牛小間で温かスープ 【沢目穂子さん】	16

Agresh 2024 月号 No.167



# こんな疑問や思いを抱えていませんか？



**障害者との作業に不安がある**

↓

**福祉事業所の職員が付き添うので大丈夫!**

基本的に福祉事業所の職員1名と、福祉事業所の利用者(障がい者)数名が1チームとなって作業を行います。どのような作業をしてほしいのか、どのような手順でやるのかを職員に伝えると、職員が利用者の方にわかりやすく説明・サポートします。事前に職員との打ち合わせがありますので、疑問や心配事はその時に伝え話し合うようにしましょう。

基本的に利用者は福祉事業所に通所しているため、作業時間は限られています。目安として、午前10時～12時、午後1時～3時までとなります。利用者の送迎も職員がします。



**なにを準備すれば良いの？**

↓

**作業場の環境を整えておきましょう**

農家さんにとって慣れ親しんだ作業場や道具でも、障がいのある方にとっては、置きっぱなしの農機具や散らかった作業用具がケガの原因になることがあるかもしれません。トラブルを防ぐため、作業場は整理整頓しておく必要があります。

※委託契約を結ぶ際は、福祉事業所が障がいのある方に対して保険に加入していることを事前に確認しておきましょう。

また、安全な作業をするためには休憩場所やトイレの確保も必要です。準備ができない場合は、事前の打ち合わせの際に相談しましょう。公共の場所を利用する方法、ご自宅が近い場合はご自宅を利用する方法、費用助成などの相談をすることも可能です。

**作業料金の計算方法は？** → **福祉事業所と委託契約を結ぶのが一般的です。委託料金は「時給制」と「出来高制」があります。**

委託料は農家さんが福祉事業所に支払います。支払った委託料は、お給料にあたる「工賃」として福祉事業所から作業をした利用者に支払われます。

**「箱の組み立て」を1日300個お願いする場合**

① 時給1,000円のパートさんが1時間で100箱組み立てる → 1箱あたりの単価は  $1,000円 \div 100箱/時 = 10円$

② 福祉事業所のグループが1日に300箱組み立てる → グループに支払う賃金は  $1箱10円 \times 300箱 = 3,000円$

委託料は農家さんが福祉事業所に支払います。支払った委託料は、お給料にあたる「工賃」として福祉事業所から作業をした方々に支払われます。就労継続支援A型事業所に委託する場合、最低賃金以上の工賃を支払う必要があります。

# 特集 広げよう“ノウハウ”の輪

(参考資料:農福連携マニュアル)

「農福連携」とは農業者と社会福祉法人などの福祉事業者が連携し、障がいのある方の農業分野での就労を支援する取り組みです。農業者側の労働力不足、福祉側の工賃向上という双方の課題が解決されると期待されています。正しい情報を身に付け、実際に取り組むことを考えてみませんか。

**農福連携** 青森県ではモデル事業「チャレンジ農福」に力を入れています。障がいの程度が比較的軽度である就労支援B型の事業所が対象。JAは組合員と福祉事業所のマッチングをお手伝いし、福祉事業所の農作業ユニット(施設職員1人と障がい者2～3人のグループ)による農作業体験を実施しています。当JA管内ではすでに、ニンニクの種こぼしやネギの出荷調整、ナガイモの支柱運び、ゴボウの袋詰めなどの取り組みがされています。

**身体障がい** 視覚障がい、聴覚障がい、音声・言語機能などの障がい、肢体不自由、内部障がいの5つに分類。

**知的障がい** 記憶や知覚、判断といった知的機能の発達に遅れが見られ、社会生活へ適応することが困難な障がい。基本的な生活の自立が可能な軽度から、生活全般に常時介助が必要な最重度まで4段階に分けられる。

**精神障がい** 精神疾患により精神機能に障がいが発生し、日常生活や社会参加が困難になっている状態。統合失調症や気分障がい(躁うつ病、うつ病、躁病)、神経症、アルコールや薬物依存症などが該当。

**発達障がい** 先天性の脳機能の発達に関係する障がいで、自閉症、注意欠陥多動性障がい(AD/HD)などが幼少期に現れる。個人差が大きい特徴がある。

主な障害の種類



**農福連携のメリット**

**農家側**

- 草取りや繁忙期だけなど、短期的にお願いできる
- 作業に合わせた人員対応で、期日内に作業が終了できる
- 福祉事業所の若い人たちとの交流で、作業場が明るく活気づく
- 健常者と比較すると人件費が比較的安価になる場合がある
- 事故に対する保険などは福祉事業所でかけているので、手続き不要で安心

**福祉事業所側**

- 事業所内外での安定した仕事の確保で、農作業が直接工賃に反映され、工賃向上につながる
- 農業者やJA側から直接指導を受けることで、農業技術の習得が可能
- 自主生産ではないため、在庫管理、販路開拓が不要である
- 地域で作業を行うことで、地域の一員であると再認識でき、地域への定着が期待できる
- 農作業を行うことで身体面・精神面の良い影響が期待できる



# Photo News

地域的话题を紹介します

## 1/18 最優秀賞(農林水産大臣賞)に佐藤さん、山端さん 優秀賞(県知事賞)に立崎さん

当JA本店でJA全農あおもり主催の「令和5年度にんにく・ながいもフォーラム」が開かれました。県内の生産農家ら130人が集まり、令和5年産の作柄や令和6年産の高品質・多収生産に向けた栽培の基本技術・気象変動対策などを確認しました。

共進会では、最優秀賞(農林水産大臣賞)に佐藤茂寿さん(ニンニク)と山端正男さん(ナガイモ)、優秀賞(県知事賞)に立崎洋史さん(ナガイモ)が輝きました。

佐藤さんは「種選びや防除作業など一つ一つの作業を大切にしている。来季も高品質生産を目指したい」と意気込み、山端さんは「地域の仲間と独自に品評会を開くなど、日々、切磋琢磨している。賞をいただいたのは仲間のおかげ」と笑顔で感謝していました。両品目で受賞した立崎さんは「いつも支えてくれる妻や仲間達みんなで手にした賞だと思っている。互いに高め合いながら、品質のレベルアップを目指したい」と話していました。

その他の受賞者は次のとおりです

- 【ニンニク共進会】  
優良賞…東昇さん・立崎洋史さん
- 【ナガイモ共進会】  
優良賞……………寺澤和夫さん・仁和千春さん



▲ニンニク共進会で最優秀賞を受賞した佐藤さん



▲ナガイモ共進会で最優秀賞を受賞した山端さん(右)と優秀賞を受賞した立崎さん(左)

## 1/12 和子牛6万102円安スタート

七戸町の青森県家畜市場で、令和6年の和牛子牛初せりが開かれました。1頭当たりの平均単価は54万9854円で、前年同期比6万102円安のスタート。飼料や燃油などのコスト高に加えて、インボイス未対応による価格低下や買い控えなども要因とみられます。

この日の最高値は、去勢牛98万2300円、雌牛99万5500円。畠山一男組合長は「今後は優良系統の導入と増体量を確保できる飼養管理方法で、繁殖農家の所得向上を支援したい」と話しています。

せり前のセレモニーでは、縁起物である「べこ餅」が購買者に振舞われ、今年一年の市況活況を祈願しました。



▲青森県家畜市場で行われた子牛の初せり



## 私たちは始めています

三本木事業所管内の母良田茂樹さんは、令和4年から(株)レイズの就労継続支援B型事業所「Arch Plus(アーチプラス)」と農福連携活動を始めています。どのような思いで活動をしているのか、実際に活動して気づいたことなどを聞いてみました。



### 農福連携を始めたきっかけ

**母良田さん**  
学生時代の先輩である長畑さんと、ある日偶然会ったことが始まりでした。活動の内容を聞くうちに良い取り組みだなと興味が大きくなりました。作業員も高齢化していく中で、日本の農業技術をどのように繋いでいけるのか心配していました。求めていた人材がこんな身近にいたじゃん!と気づきました。あれこれ悩むより、まず実践してから考えようと思えました。

### 作業の内容

**母良田さん**  
収穫したゴボウの土落としやスチール詰め、選別のほかに、直売所に出荷するための袋詰めなどをしてもらっています。施設職員の同伴で安心できますし、素直で真面目で丁寧。本当に助かっています。毎日も来てほしいです。

### 取り組みをおこし感じていること

**長畑さん**  
利用者さんが作業をおとして「楽しかった」と笑顔を見せたり「自分で働いたお金で母さんに何かあげたい」と自立、生きがいを感じたりする様子を見ると私たちが嬉しくなります。利用者さんが自立していくことで、家族の方の負担も減っていきます。まだ取り組みを始めていない福祉事業者にも活動の意義を伝えていきたいと思っています。

### 青森県の現状

**漆戸さん**  
ここ数年で取り組みが広がってきたと感じますが、全国的にみると青森県はまだまだ遅れています。母良田さんが言っていた設備投資のほかに、農家さんや事業所の知識不足も要因だと考えます。互いに理解を深めて支援が広がれば、活動はもっと活発になっていくはずです。

### 実際の取り組みを聞いて

**佐々木さん**  
これから先の農業を考えた時に、農福連携の必要性を感じて、話しを聞きに来ました。選別や調整など、細かい作業を苦手とする男の農業者は多いはずです。互いがやりやすいように話し合い、改善することで作業の効率化につながるのだと知りました。我が家も体制を整えて、早く一緒に作業したいなと思っています。

### これから始める方へメッセージ

**母良田さん**  
農福は「農家」と「福祉」。お互いに歩み寄ることが第一です。そのためには事業主だけではなく、一緒に働く従業員の理解と協力も必要です。色々な固定概念から不安に思う人も多いと思いますが、まずは一歩踏み出してチャレンジしてみてください。

### 長畑さん

私たちは初めの頃、家族以上に何度も連絡を取り合いました。人や環境を常に観察して、互いの意見をヒアリング・改善していくことが上手にいく秘訣です。

農福連携に係るご相談は  
上北地域県民局 地域農林水産部 農業普及振興室(TEL.0176-23-4281)  
または JA十和田おいらせ 農業総合支援室 までお問い合わせください。